

Introduction to Computer 2

2 units (selection)

Koji Kashihara · ASSOCIATE PROFESSOR / INTELLIGENT SYSTEMS, DEPARTMENT OF INFORMATION SCIENCE AND INTELLIGENT SYSTEMS

Target) UNIX オペレーティングシステムを念頭においた C 言語の基礎を理解し、プログラムを「書く」習慣を身につける。

Outline) UNIX 自身もその内部はほとんど C 言語で記述されていることはよく知られている。C 言語の初歩的な事柄について、実習による裏付けを取りながら理解を深めてゆく。「コンピュータ入門1」で培った技術を活用できるのは勿論、プログラミング環境を効率良く行なえる各種ツールについても講述する。

Fundamental Lecture) “Introduction to Computer 1”(1.0)

Relational Lecture) “Programming Methodology”(0.5), “Data Structures and Algorithms 1”(0.5), “Programming Systems”(0.5)

Requirement) 「コンピュータ入門1」を受講していることが望ましい。

Notice) 既に C 言語によるプログラミング技法を修得している、3 年次以降の学生には適さない。毎回、講義に関連した演習課題を出すので、十分な予習・復習を行う必要がある。

Goal)

1. 基本的な C プログラムの作成ができるようになる
2. 既存プログラムの「模倣」ではなく、アルゴリズムを自律的に思考する能力を身につける

Schedule)

1. C 言語入門
2. 演算と型
3. プログラムの流れと分岐
4. 反復構造
5. 配列
6. 基本型
7. これまでの総括と模擬試験
8. 中間試験
9. 関数
10. 文字と文字列
11. ポインタ
12. ポインタと配列・文字列
13. 構造体
14. ファイル操作
15. 総括と補足

16. 期末試験

Evaluation Criteria) 授業計画 1~ 15 の内容に関し、講義の最後に行なわれる最終試験により達成度評価を行なう。課題を毎回出題する。試験と課題の提出状況、受講姿勢を総合して評価する。平常点と試験の比率は 4:6 とする。

Textbook) 柴田望洋, 新版 明解 C 言語 入門編, ソフトバンククリエイティブ

Reference) B. W. カーニハン・D. M. リッチー 著・石田晴久 訳「プログラミング言語 C 第 2 版」共立出版

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215913>

Student) Able to be taken by student of other department

Contact)

⇒ Kashihara (kojikasi@is.tokushima-u.ac.jp) MAIL